

# 銅・アルミ

## 市況見通し

### 9月

#### 銅

7月の伸銅品生産量は、リーマンショックの翌年09年以來の少ない水準となった。中国国内の工場再開で、今後、需要増加が期待される。過去の事例では、リーマンショック後の消費財需要の回復時、伸銅品の需要増加には2カ月かかった。その教訓からも、自動車業界の生産再開から2カ月程度遅れて伸銅品の生産回復が進むだろう。

7月の伸銅品生産量は、リーマンショックの翌年09年以來の少ない水準となった。中国国内の工場再開で、今後、需要増加が期待される。過去の事例では、リーマンショック後の消費財需要の回復時、伸銅品の需要増加には2カ月かかった。その教訓からも、自動車業界の生産再開から2カ月程度遅れて伸銅品の生産回復が進むだろう。

## 橋本アルミ取締役 橋本 健一郎氏レポート



#### 9月銅市況予想レンジ

|            |                       |     |
|------------|-----------------------|-----|
| LME銅セツルメント | 6500~7000ドル           | 強い  |
| 電気銅建値      | 73~80万円               | 強い  |
| 為替(1ドル)    | 106~108円<br>(1カ月間TTM) | 横ばい |

(同12カ月連続減) だ よる輸入玉不足が見込めた。7月の銅電線出荷量は同15・6%減の5万3800トで、うち国内が同15・6%減、輸出が同15・8%減。銅電線の7月出荷数量ではここ45年間で最低水準となっている。

#### LME銅・為替予想

今月は米中の景気動向やコロナウイルス収束の動向に左右される。米中の景気動向では、中国で工業生産・自動車販売台数などで強気の経済指標の発表が相次いだ。米国も8月米新車販売台数の堅実な回復、7月から大幅に増加した全米非農業部門雇用者数などが発表されている。このことから米中の景気は回復傾向のあるのではと見ている。

銅輸入は、電気銅が同50・1%減の400ト、銅スクラップが同22・5%減の9703トだった。銅スクラップは、電気銅が同50・1%減の400ト、銅スクラップが同22・5%減の9703トだった。

#### 銅スクラップ 景況予想

銅建値が8月中旬に2万円上昇したことや前月からの玉不足が響いて、流通在庫は少ない。需要は、旺盛だろう。内需は低迷したまだが、米中需要の回復に

始したことから回復傾向にあると見ている。

#### アルミ

7月のアルミ生産量は(板類・押出類合計)は同19・4%減の14万1700トとなり12カ月連続で前年同月を下回った。生産量は板類が同17・0%減の8万9343ト、押出類が同23・2%減の5万2357トだった。

7月のアルミ生産量は(板類・押出類合計)は同19・4%減の14万1700トとなり12カ月連続で前年同月を下回った。生産量は板類が同17・0%減の8万9343ト、押出類が同23・2%減の5万2357トだった。

#### アルミスクラップ 景況予想

流通在庫は、LME価格が1700ドル後半程度と戻していることや発生減から売り惜しみモードとなっている。需要面は、米中経済が回復してきたことによる輸入塊玉価格の上昇から 国内モノにも引き合いあり引き締りモードとなっている。

#### 9月アルミ市況予想レンジ

|              |                        |     |
|--------------|------------------------|-----|
| LMEアルミ現物後場買い | 1700~1800ドル            | 強い  |
| スクラップ        | プラス5~10円<br>(前月最終価格より) | 強い  |
| 為替(1ドル)      | 106~108円<br>(1カ月間TTM)  | 横ばい |